

高知県におけるへき地医療対策

～へき地医療機関の医師確保と医学教育～

高知県へき地医療支援機構
専任担当官 澤田 努

高知県健康福祉部医師確保推進課(県職員)
高知医療センター 地域医療科(へき地医療拠点病院) 併任

へき地保健医療計画検討会 2009.7.10

高知県へき地医療協議会

三権分立(三位一体)の関係

総会: 1回/年
幹事会: 3か月毎

高知県(主管課: へき地医療主管課・へき地医療支援機構)

負担金・人事要望

派遣されている医師数
によって負担金が異なる

医師継続派遣
市町村への指導

人事ヒアリング
& アンケート
支援機構による支援

へき地医療確保
人事要望

11市町村

自治体間における
横のつながり

労務環境・QOL向上
後期研修・定期医師研修

医師部会(34名)

地域住民の健康管理・地域医療貢献

高知県へき地医療協議会

市町村会員

11市町村長(会長・副会長・理事)
11市町村福祉・住民課長・
病院事務長(幹事)

高知県

健康福祉部長
へき地医療主管課
へき地医療支援機構

医師部会

へき地医療従事医師(34名)

大学関係

高知大学
家庭医療学講座教授
自治医大
高知県顧問指導医
(高知医療センター病院長)

政策的にへき地拠点病院に医師を集約化させた
ことが教育やへき地支援に有効に作用した

嶺北



医師の派遣人数

梶原



後期研修

高知県へき地医療協議会に加盟する市町村
が開設する医療機関



大月



協議会で県・市町村が果たす役割

◆ 県

- どの市町村に派遣されても格差がないようにする
(給与水準を県の医療職給料表に基づき均てん化するなど)
- 派遣先の決定については医師本人の要望を
できる限り尊重、キャリアパスをイメージできる人事
- 市町村と医師との連絡調整

◆ 市町村

- 医師を常勤職として割愛で採用(人事案を受け入れる)
- 医師以外の看護師や事務員などは独自に確保
- 医師の研修等の支援などの勤務環境の整備
(へき地診療所での、週1回の研修日の確保など)

へき地医療協議会参加医師の状況

平成21年6月現在

所属医師数 34名

自治医大 31名 (自治医大卒業生総数67名)

義務年限内 17名

義務年限終了 14名

高知大学卒業 2名 (これまでの累計 5名)

愛媛大学卒業 1名

将来的には高知県で地域医療を目指す奨学金制度、
地域枠医学生の受け皿として

協議会に対する負担額および年度予算 (平成20年度実績)

- ・ 医師6名 3,408,000円(1施設)
- ・ 医師5名 2,980,861円(1施設)
- ・ 医師4名 2,552,200円(1施設)
- ・ 医師2名 1,696,400円(2施設)
- ・ 医師1名 1,268,500円(6施設)
- ・ 県からの補助金 8,950,000円

平成20年度総決算額 **合計 33,529,888円**

[歳出の内訳]

後期研修等負担、へき地勤務医師赴任旅費、
夏期学生実習負担、協議会事業費負担
(IT関連など)、その他

協議会によりもたらされたもの①

- ◆ 自治医大以外の卒業医師参入
高知大や愛媛大卒業医師(累計6名)や、自治医大
地域医療後期研修プログラムからの受け入れ(2名)
- ◆ 研修体制充実の確保
へき地医療機関すなわち市町村職員の身分を持った
まま県外でも後期研修を実施できるようになった
- ◆ 諸診医会自らの問題としてへき地医療支援の具体化
広域救急ヘリ搬送システムの活用など

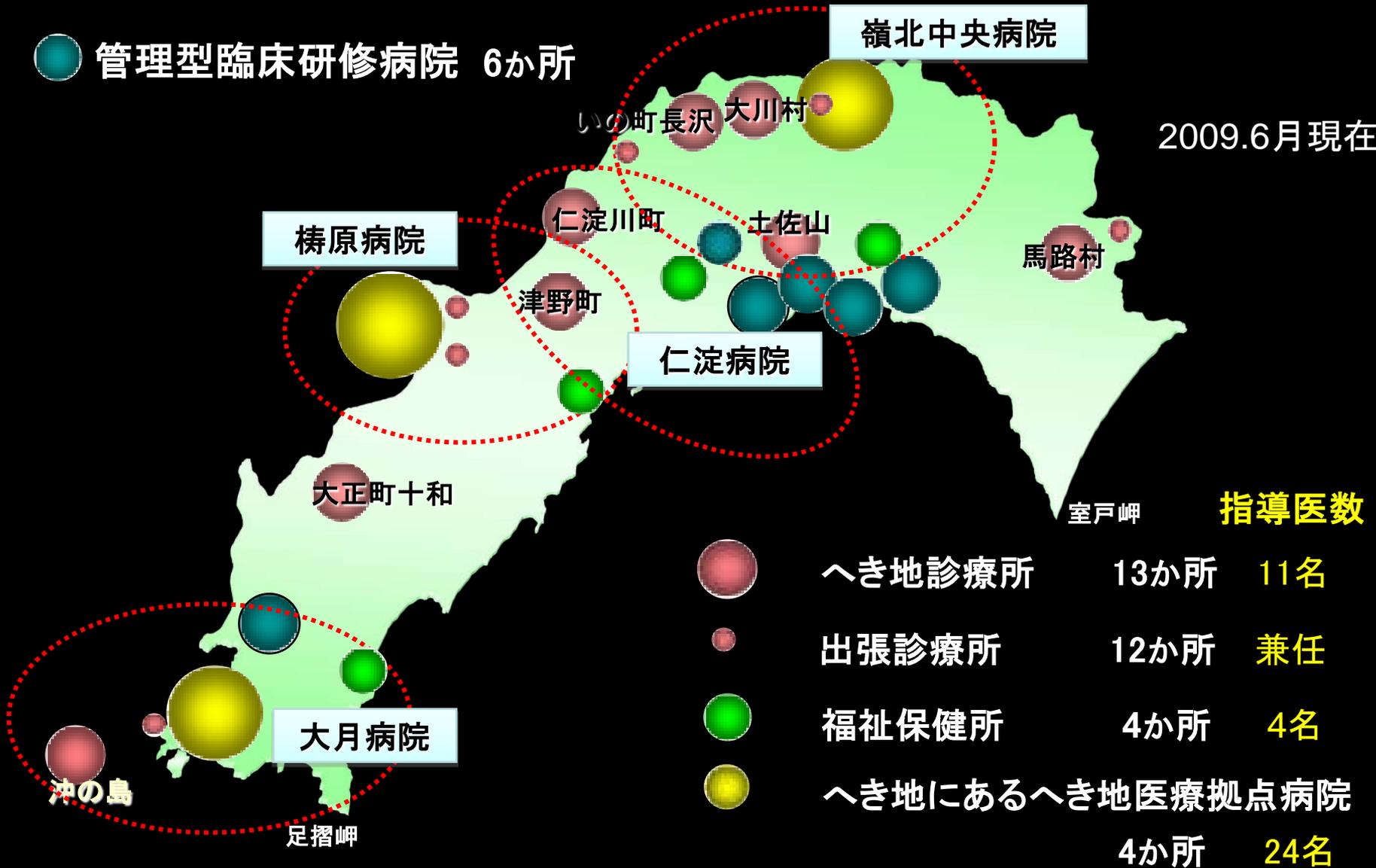
協議会によりもたらされたもの②

- ◆ へき地医療情報ネットワークの整備
現場からの提案により、全ての診療所を光ファイバー網で結び、へき地勤務医師の医療支援と情報共有を図り、次世代の人材育成にもつなげている
- ◆ 「地域保健・医療」研修
多くの研修医に地域医療の現場を知ってもらえるよう、へき地の医療機関を組み込んだ研修を立案
県内の管理型研修病院が(6施設)が採用、今年度からは、県外大学病院(4施設)の研修医も参加

「地域保健・医療」研修のシステム化

● 管理型臨床研修病院 6か所

2009.6月現在



県による初期研修医の派遣調整①

1施設に1名ずつ
切れ目のない継続派遣

35名

平成21年度派遣分

県内外10か所の管理型病院
から派遣される研修医が対象

研修プログラムや研修タームの統一

大月グループ

8名

沖ノ島へき地診療所
柏島出張診療所
安満地出張診療所

梶原グループ

8名

津野町杉ノ川診療所
四万川診療所
松原診療所

仁淀グループ

10名

いの町長沢診療所
仁淀川町大崎診療所
附属吾北診療所

嶺北グループ

9名

土佐山へき地診療所
大川村小松診療所
汗見川へき地診療所

県による初期研修医の派遣調整②

平成21年度週割				勤務実日数	嶺北グループ		栲原グループ		大月グループ		仁淀グループ	
					(医師名) (大学)	(医師名) (医療七)	(医師名) (医療七)					
3W	4月13日	～	4月19日	5	採履所研修 (中央東)		病院研修 (栲原)		病院研修 (大月)	採履所研修 (中央東)		
4W	4月20日	～	4月26日	5								
5W	4月27日	～	5月3日	4	診履所+病院時間外					診履所+病院時間外		
6W	5月4日	～	5月10日	2	16							
7W	5月11日	～	5月17日	5								
8W	5月18日	～	5月24日	5	病院研修 (嶺北)		診履所+病院時間外		診履所+病院時間外	病院研修 (大月)		
9W	5月25日	～	5月31日	5			採履所研修 (濃尾)		採履所研修 (濃尾)			
10W	6月1日	～	6月7日	5	20							
					(医師名) (大学)	(医師名) (医療七)	(医師名) (医療七)					
11W	6月8日	～	6月14日	5		採履所研修 (中央西)	病院研修 (栲原)	採履所研修 (中央西)	病院研修 (大月)	採履所研修 (樟多)	病院研修 (仁淀)	
12W	6月15日	～	6月21日	5	病院研修 (嶺北)	診履所+病院時間外		診履所+病院時間外		診履所+病院時間外		
13W	6月22日	～	6月28日	5								
14W	6月29日	～	7月5日	5	20							
15W	7月6日	～	7月12日	5	診履所+病院時間外	病院研修 (嶺北)	診履所+病院時間外	病院研修 (栲原)	診履所+病院時間外	病院研修 (大月)	診履所+病院時間外	
16W	7月13日	～	7月19日	5	3w	病院研修 (嶺北)	3w	病院研修 (栲原)	3w	病院研修 (大月)	3w	
17W	7月20日	～	7月26日	4								
18W	7月27日	～	8月2日	5	採履所研修 (中央東)		採履所研修 (濃尾)		採履所研修 (中央東)		採履所研修 (濃尾)	
19W	8月3日	～	8月9日	5	24							
					(医師名) (大学)	(医師名) (国立)	(医師名) (国立)	(医師名) (医療七)	(医師名) (大学)	(医師名) (樟多)	(医師名) (医療七)	(医師名) (医療七)
20W	8月10日	～	8月16日	5		採履所研修 (中央西)	採履所研修 (中央西)	採履所研修 (中央西)	病院研修 (大月)	採履所研修 (樟多)	病院研修 (仁淀)	採履所研修 (中央西)
21W	8月17日	～	8月23日	5	病院研修 (嶺北)	診履所+病院時間外	病院研修 (栲原)	診履所+病院時間外		診履所+病院時間外		診履所+病院時間外
22W	8月24日	～	8月30日	5								
23W	8月31日	～	9月6日	5	20							
24W	9月7日	～	9月13日	5	診履所+病院時間外	病院研修 (嶺北)	診履所+病院時間外	病院研修 (栲原)	診履所+病院時間外	病院研修 (大月)	診履所+病院時間外	診履所+病院時間外
25W	9月14日	～	9月20日	5	3w	病院研修 (嶺北)	3w	病院研修 (栲原)	3w	病院研修 (大月)	3w	病院研修 (仁淀)
26W	9月21日	～	9月27日	2								
27W	9月28日	～	10月4日	5	採履所研修 (濃尾)		採履所研修 (濃尾)		採履所研修 (中央東)		採履所研修 (中央東)	
28W	10月5日	～	10月11日	5	22							
					(医師名) (大学)	(医師名) (医療七)	(医師名) (大学)		(医師名) (大学)	(医師名) (樟多)	(医師名) (医療七)	(医師名) (医療七)
29W	10月12日	～	10月18日	4		採履所研修 (中央西)	病院研修 (栲原)	採履所研修 (中央西)	病院研修 (大月)	採履所研修 (樟多)	病院研修 (仁淀)	採履所研修 (中央西)
30W	10月19日	～	10月25日	5	病院研修 (嶺北)	診履所+病院時間外				診履所+病院時間外		病院研修 (仁淀)
31W	10月26日	～	11月1日	5								
32W	11月2日	～	11月8日	4	18							病院研修 (仁淀)
33W	11月9日	～	11月15日	5	診履所+病院時間外	病院研修 (嶺北)	診履所+病院時間外	診履所+病院時間外	診履所+病院時間外	病院研修 (大月)	診履所+病院時間外	診履所+病院時間外
34W	11月16日	～	11月22日	5								
35W	11月23日	～	11月29日	4	採履所研修 (中央東)		採履所研修 (濃尾)		採履所研修 (中央東)		採履所研修 (濃尾)	診履所+病院時間外
36W	11月30日	～	12月6日	5	19							
					(医師名) (大学)		(医師名) (医療七)				(医師名) (医療七)	(医師名) (医療七)
37W	12月7日	～	12月13日	5			採履所研修 (中央西)				採履所研修 (中央西)	
38W	12月14日	～	12月20日	5	病院研修 (嶺北)	3w					病院研修 (仁淀)	3w
39W	12月21日	～	12月27日	4			診履所+病院時間外				診履所+病院時間外	

大学と連携して実施する 夏期学生地域医療実習

	幡多医療圏にある県立病院 (355床、18診療科)での実習	へき地医療機関での実習
実施主体	高知大学医学部 家庭医療学講座 地域枠学生サポートWG	高知県、へき地医療支援機構 高知県へき地医療協議会 国保連合会
対象者		自治医科大学高知県出身学生 国保修学生(高知大学、他大学)
	地域枠等、医師養成奨学資金受給者(高知大学、他大学) 高知大学医学部一般学生	
人数	高知大学医学部学生20名程度	高知大学医学部学生10名程度 自治医大学生12名程度

まとめ

- ◆ 当該市町村と県、現場医師の三者で構成される組織づくりを背景とした、キャリアパスがイメージできる人事
- ◆ 現場医師と行政とのパイプ役として、県庁主管課にへき地医療勤務経験をもつ臨床医を配置(支援機構)
- ◆ へき地医療拠点病院に医師を集約して、周辺のへき地診療所への代診や医学教育にも対応できる体制づくり
- ◆ へき地医療機関での医学生・研修医教育には、県が一定の関わりをもって派遣調整をおこなう必要がある
- ◆ 自治医大の学生だけでなく、これからは大学とも連携して、地域枠や奨学金制度の医学生との関わりを密に保つことも必要